



## エンドユーザの設定

[Cisco Unified CallManager の管理] の [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウを使用すると、システム管理者は、Cisco Unified CallManager のエンドユーザに関する情報を追加、検索、表示、および保持することができます。



(注)

企業 LDAP サーバとの同期化が使用不可の場合に限り、Cisco Unified CallManager の管理ページで新規エンドユーザを追加できます。同期化が使用不可の場合は、新規ユーザの追加、および既存ユーザの設定値 (ユーザ ID を含む) の変更を行うことができます。同期化が使用可能の場合は、新規ユーザの追加や既存ユーザの ID の変更はできません。ただし、既存エンドユーザのその他の設定値を変更することはできません。

設定が使用可能になっているかどうかを確認するには、Cisco Unified CallManager の管理ページで、[システム] > [LDAP] > [LDAP システム] メニュー オプションを使用します。[LDAP サーバからの同期を有効にする (Enable Synchronizing from LDAP Server)] チェックボックスがオフになっている場合、同期化は使用可能ではありません。詳細については、「[LDAP システムの設定](#)」を参照してください。

次のトピックでは、エンドユーザディレクトリ情報の管理について説明します。

- [エンドユーザの検索 \(P.87-2\)](#)
- [エンドユーザの追加 \(P.87-3\)](#)
- [Cisco Unity または Cisco Unity Connection のボイスメールボックスの作成 \(P.87-4\)](#)
- [エンドユーザの設定値 \(P.87-6\)](#)
- [エンドユーザのパスワードの変更 \(P.87-11\)](#)
- [エンドユーザの PIN の変更 \(P.87-12\)](#)
- [エンドユーザのユーザ関連情報の設定 \(P.87-13\)](#)
- [エンドユーザとデバイスとの関連付け \(P.87-15\)](#)
- [Cisco エクステンション モビリティ プロファイルの関連付け \(P.87-17\)](#)
- [エンドユーザの削除 \(P.87-18\)](#)

### 追加情報

P.87-19 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## エンドユーザの検索

ネットワーク内には複数のエンドユーザが存在することがあるので、Cisco Unified CallManager では、固有の条件を指定して、特定のエンドユーザを見つけることができます。エンドユーザを見つける手順は、次のとおりです。



**(注)** Cisco Unified CallManager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、エンドユーザの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、エンドユーザの検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** [ユーザ管理] > [エンドユーザ] の順に選択します。

[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウンリストボックスを使用して、エンドユーザを検索します。

**ステップ 2** 最初の [検索対象: ユーザ、検索条件:] ドロップダウンリストボックスから、エンドユーザの検索に使用するフィールドを選択します (たとえば、[名]、[姓]、[ユーザ ID])。



**(注)** データベースに登録されているエンドユーザをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。検索条件と一致するエンドユーザのリストが表示されます。

**ステップ 3** 2 番目の [検索対象: ユーザ、検索条件:] ドロップダウンリストボックスから、テキスト検索の検索パターンを選択します (たとえば、[が次の文字列で始まる]、[が次の文字列を含む]、[が次の文字列で終わる])。

**ステップ 4** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。

検索条件と一致するレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウンリストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



**ヒント** 検索結果内でエンドユーザを検索するには、[絞り込み] チェックボックスをオンにし、このステップの説明に従って検索条件を入力します。



**(注)** 該当するエンドユーザの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウから複数のエンドユーザを削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのエンドユーザを削除できます。

**ステップ 5** 検索条件と一致するレコードのリストから、表示するエンドユーザのユーザ ID をクリックします。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウに、選択したエンドユーザが表示されます。

#### 追加情報

P.87-19 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## エンドユーザの追加

エンドユーザを追加する手順は、次のとおりです。



(注)

LDAP サーバとの同期が使用可能でない場合に限り、エンドユーザ情報を変更できます。LDAP サーバとの同期が使用可能であるかどうかを調べるには、[システム] > [LDAP] > [LDAP システム] メニュー オプションを使用します。表示される [LDAP システムの設定 (LDAP System Configuration)] ウィンドウで、[LDAP サーバからの同期を有効にする (Enable Synchronizing from LDAP Server)] チェックボックスがオフであることを確認します。同期が使用可能である場合、エンドユーザデータを表示できますが、変更することはできません。

#### 手順

**ステップ 1** [ユーザ管理] > [エンドユーザ] の順に選択します。

[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、エンドユーザを検索します。

**ステップ 2** [新規追加] をクリックします。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** 適切な設定値を入力します (表 87-1 を参照)。

**ステップ 4** エンドユーザ情報の入力を完了したら、[保存] をクリックし、変更内容を保存してエンドユーザを追加します。

#### 次の手順

このエンドユーザにデバイスを関連付ける場合は、後述の「[エンドユーザとデバイスとの関連付け](#)」の手順に進みます。

#### 追加情報

P.87-19 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## Cisco Unity または Cisco Unity Connection のボイスメールボックスの作成

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウの「Create Cisco Unity User」リンクを使用すると、Cisco Unified CallManager の管理ページから個々に Cisco Unity および Cisco Unity Connection のボイスメールボックスを作成できます。



(注)

「Create Cisco Unity User」リンクは、Cisco Unity 管理者が適切なソフトウェアをインストールして設定した場合に限り、表示されます。『Cisco Unified CallManager 5.0 Integration Guide for Cisco Unity 4.0』または『Cisco Unified CallManager 5.0 SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection 1.1』を参照してください。

### 始める前に

- ボイス メッセージ用に Cisco Unified CallManager を設定する。『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」を参照してください。
- Cisco Unity サーバを設定する。Cisco Unity および Cisco Unity Connection のマニュアルを参照してください。
- Cisco Unity Cisco Unified CallManager Integrated Voice Mailbox Configuration が Cisco Unity サーバまたは Cisco Unity Connection サーバで使用可能になっていることを確認する。『Cisco Unified CallManager 5.0 Integration Guide for Cisco Unity 4.0』または『Cisco Unified CallManager 5.0 SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection 1.1』を参照してください。
- Cisco RIS Data Collector サービスがアクティブになっていることを確認する。『Cisco Unified CallManager Serviceability システム ガイド』および『Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』を参照してください。
- 「Create Cisco Unity User」リンクが表示される前に、デバイスとエンドユーザを関連付ける。リンクは [Primary Extension] フィールドの横に表示されます。
- 「Create Cisco Unity User」リンクを表示するために、ボイスメール プロファイルとプライマリ内線の電話番号が関連付けられていることを確認する。P.48-3 の「電話番号の設定」を参照してください。



(注)

[電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウにも「Create Cisco Unity User」リンクがあります。

### 手順

**ステップ 1** デバイスをエンドユーザに関連付けるために、[ユーザ管理] > [エンドユーザ] の順に選択します (P.87-15 の「エンドユーザとデバイスとの関連付け」を参照)。

**ステップ 2** 適切な設定値を入力します (表 87-1 を参照)。



(注)

プライマリ内線を定義したことを確認してください。定義していないと、[関連リンク] ドロップダウンリスト ボックスに「Create Cisco Unity User」リンクが表示されません。

**ステップ 3** ウィンドウの右上隅にある [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから、「Create Cisco Unity User」リンクを選択し、[移動] をクリックします。

[Add Cisco Unity User] ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 4** [Application Server] ドロップダウン リスト ボックスから、Cisco Unity ユーザまたは Cisco Unity Connection ユーザを作成する Cisco Unity サーバまたは Cisco Unity Connection サーバを選択し、[Next] をクリックします。

**ステップ 5** [Subscriber Template] ドロップダウン リスト ボックスから、使用する登録者テンプレートを選択します。

**ステップ 6** [Save] をクリックします。

Cisco Unity メールボックスが作成されます。[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで、[関連リンク] 内のリンクが「Edit Cisco Unity User」に変わります。

これで、Cisco Unity システム管理から、作成したメールボックスを表示できます。『Cisco Unity インストレーションガイド』または『Cisco Unity Connection インストレーションガイド』を参照してください。



(注)

Cisco Unity ユーザが Cisco Unified CallManager エンドユーザと統合された場合、Cisco Unity システム管理では [エイリアス] ([Cisco Unified CallManager の管理] の [ユーザ ID(User ID)]）、[名]、[姓]、[内線] ([Cisco Unified CallManager の管理] の [プライマリ内線 (Primary Extension)]) の各フィールドを編集できません。これらのフィールドは、Cisco Unified CallManager の管理機能だけで更新できます。



(注)

Cisco Unity は、Cisco Unified CallManager からのデータの同期を監視します。Cisco Unity システム管理の [ツール] ([CallManager ユーザのインポート]、[CallManager の同期化]) で、同期時間を設定できます。Cisco Unity のマニュアルを参照してください。

### 追加情報

P.87-19 の「関連項目」を参照してください。

## エンドユーザの設定値

表 87-1 では、エンドユーザの設定値について説明します。関連する手順については、P.87-19 の「関連項目」を参照してください。

表 87-1 エンドユーザの設定値

フィールド	説明
<b>[ユーザ情報 (User Information)]</b>	
[LDAP 同期状態 (LDAP Sync Status)]	このフィールドには、[システム] > [LDAP] > [LDAP システム] メニュー オプションで設定した、LDAP 同期の状況が表示されます。
[ユーザ ID]	エンドユーザの識別名を入力します。Cisco Unified CallManager 5.0 以降のリリースでは、ユーザ ID を作成後に変更できます。  <b>(注)</b> LDAP サーバとの同期が使用可能でない場合に限り、エンドユーザ情報を変更できます。同期が使用可能である場合、エンドユーザ データを表示できますが、変更することはできません。
[パスワード (Password、半角英数字のみ)]	エンドユーザパスワードとなる 5 文字以上の英数字または特殊文字を入力します。
[パスワードの確認 (Confirm Password、半角英数字のみ)]	エンドユーザのパスワードをもう一度入力します。
[PIN (PIN、半角数字のみ)]	Personal Identification Number (PIN; 個人識別番号) となる 5 文字以上の英数字を入力します。
[PIN の確認 (Confirm PIN、半角英数字のみ)]	PIN をもう一度入力します。
[姓]	エンドユーザの姓を入力します。
[ミドルネーム]	エンドユーザのミドルネームを入力します。
[名]	エンドユーザの名を入力します。
[電話番号 (Telephone Number)]	エンドユーザの電話番号を入力します。特殊文字 ((、)、および-) を使用できます。
[メール ID (Mail ID)]	エンドユーザの電子メールアドレスを入力します。
[マネージャのユーザ ID (Manager User ID)]	エンドユーザ マネージャ ID のユーザ ID を入力します。入力するマネージャ ユーザ ID は、ディレクトリ内にエンドユーザとして指定済みでなければなりません。
[部署名]	エンドユーザの所属部門の情報 (たとえば、所属部門の番号や名称など) を入力します。

表 87-1 エンドユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
[ユーザロケール (User Locale)]	<p>ドロップダウンリストボックスから、そのエンドユーザに関連したロケールを選択します。そのユーザ ロケールは、言語とフォントを含んだ、エンドユーザをサポートする一連の詳細情報を識別します。</p> <p>Cisco Unified CallManager は、このロケールをエクステンション モビリティおよび Cisco Unified IP Phone User Options に使用します。Cisco エクステンション モビリティ ログインでは、ここに指定されているロケールが、デバイスおよびデバイス プロファイルの設定よりも優先されます。Cisco エクステンション モビリティ ログオフでは、Cisco Unified CallManager は、デフォルト デバイス プロファイルに指定されたエンドユーザ ロケールを使用します。</p> <p> (注) エンドユーザロケールを選択しない場合は、Cisco CallManager サービス パラメータでデフォルト ユーザ ロケールとして指定されているロケールが適用されます。</p>
[割り当てられた PC(Associated PC)]	この必須フィールドは、Cisco SoftPhone および Cisco Unified CallManager Attendant Console のユーザに適用されます。
[ダイジェスト信用証明書 (Digest Credentials)]	<p>SIP 電話機にダイジェスト認証を設定すると、Cisco Unified CallManager は、電話機が Cisco Unified CallManager に SIP 要求を送信するたびに、電話機のアイデンティティを確認します。[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウでダイジェスト ユーザを選択すると、このフィールドに入力するダイジェスト資格情報が電話機に関連付けられます。</p> <p>一連の英数字を入力します。</p> <p> (注) ダイジェスト認証の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>
[ダイジェスト信用証明書の確認 (Confirm Digest Credentials)]	ダイジェスト資格情報を正しく入力したことを確認するために、このフィールドにその資格情報を入力します。
<b>[デバイスの割り当て (Device Associations)]</b>	
[制御するデバイス (Controlled Devices)]	<p>デバイスが関連付けられた後に、このフィールドには、エンドユーザが制御する説明情報 (たとえば、MAC アドレスなど) が表示されます。</p> <p>デバイスをこのエンドユーザに関連付けるには、右側にある <b>[デバイスの割り当て]</b> ボタンをクリックします。詳細な手順については、P.87-15 の「<a href="#">エンドユーザとデバイスとの関連付け</a>」を参照してください。</p>

表 87-1 エンドユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
<b>[エクステンションモビリティ (Extension Mobility)]</b>	
[使用可能なプロファイル (Available Profiles)]	<p>このリスト ボックスには、このエンドユーザとのアソシエーションに使用できるエクステンションモビリティプロファイルが表示されます。</p> <p>エクステンション モビリティ プロファイルを検索するには、<b>[検索]</b> をクリックします。表示される [デバイスプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Device Profiles)] ウィンドウを使用して、必要なエクステンションモビリティプロファイルを検索します。</p> <p>エクステンション モビリティ プロファイルをこのエンドユーザに関連付けるには、プロファイルを選択し、このリスト ボックスの下にある下矢印をクリックします。</p>
[制御するプロファイル (Controlled Profiles)]	Cisco エクステンション モビリティに設定されたエンドユーザに関連付けられた、制御されたデバイス プロファイルのリストが、このフィールドに表示されます。
[デフォルトのプロファイル (Default Profile)]	ドロップダウン リスト ボックスから、このエンドユーザのデフォルトのエクステンションモビリティプロファイルを選択します。
[プレゼンスグループ (Presence Group)]	<p>このフィールドには、プレゼンス機能を設定します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスから、エンドユーザ用のプレゼンスグループを選択します。選択したグループによって、エンドユーザが監視できる対象が指定されます。</p> <p>[プレゼンスグループ (Presence Group)] のデフォルト値は、インストール時に設定された [Standard Presence group] です。Cisco Unified CallManager の管理ページで設定されたプレゼンス グループもドロップダウン リスト ボックスに表示されます。</p> <p>プレゼンス認可は、プレゼンス グループと連携して、グループ間のプレゼンス要求を許可またはブロックします。グループ間の権限の設定、およびプレゼンスをエクステンション モビリティと連携させる方法については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。</p>

表 87-1 エンドユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
[SUBSCRIBE コーリング サーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)]	<p>プレゼンス機能でサポートされている SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースによって、Cisco Unified CallManager がエンドユーザからのプレゼンス要求をルーティングする方法が決まります。この設定により、エンドユーザのプレゼンス (SUBSCRIBE) 要求に対して、コール処理サーチ スペースとは別のコーリング サーチ スペースを適用できます。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスから、エンドユーザのプレゼンス要求に使用する SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースを選択します。[Cisco Unified CallManager の管理] で設定したすべてのコーリング サーチ スペースが、[SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] ドロップダウン リスト ボックスに表示されます。</p> <p>ドロップダウン リスト からエンドユーザ用の別のコーリング サーチ スペースを選択しない場合、SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースは、デフォルトで [None] に設定されます。</p> <p>この用途専用の SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースを設定するには、すべてのコーリング サーチ スペースと同じようにコーリング サーチ スペースを設定します。コーリング サーチ スペースを設定する方法については、P.42-1 の「コーリング サーチ スペースの設定」を参照してください。</p>
[CTI からデバイスを制御 可能 (Allow Control of Device from CTI)]	<p>[CTI からデバイスを制御可能 (Allow Control of Device from CTI)] : このチェックボックスをオンにすると、ユーザがデバイスにログインしたときに AllowCTIControlFlag デバイス プロパティがアクティブになり、それによって CTI アプリケーションからのデバイスの制御が可能になります。ユーザがデバイスにログインするまで、この設定値は無効です。</p> <p> (注) [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] の [CTI からデバイスを制御可能 (Allow Control of Device from CTI)] の設定値は、ユーザがログインするデバイスの AllowCTIControlFlag デバイス プロパティを上書きします。</p>
<b>[電話番号の割り当て (Directory Number Associations)]</b>	
[プライマリ内線 (Primary Extension)]	<p>このフィールドは、エンドユーザのプライマリ電話番号を表します。エンドユーザにデバイスを関連付ける場合は、プライマリ回線を選択しません。エンドユーザは、電話機に複数の回線を設定できます。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスから、このエンドユーザのプライマリ内線を選択します。</p> <p>システムが Cisco Unity 統合または Cisco Unity Connection 統合用に設定されている場合は、「Create Cisco Unity User」リンクが表示されず。</p>

表 87-1 エンドユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
[IPCC 内線 (IPCC Extension)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、このエンドユーザの IPCC 内線を選択します。</p> <p> (注) このフィールドは、IPCC Express Installed エンタープライズパラメータが [True] に設定されている場合にだけ表示されます。</p>
<b>[CAPF 情報 (CAPF Information)]</b>	
[割り当てられている CAPF プロファイル (Associated CAPF Profiles)]	<p>ユーザのエンドユーザ CAPF プロファイルを設定した場合は、[割り当てられている CAPF プロファイル (Associated CAPF Profiles)] ペインに、エンドユーザ CAPF プロファイルのインスタンス ID が表示されます。プロファイルを編集するには、インスタンス ID をクリックし、[プロファイルの編集] をクリックします。[エンドユーザ CAPF プロファイルの設定 (End User CAPF Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。</p> <p>エンドユーザ CAPF プロファイルを設定する方法については、『Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>
<b>[権限情報 (Permissions Information)]</b>	
[グループ (Groups)]	<p>このリスト ボックスは、エンドユーザが追加された後に表示されません。このリスト ボックスには、エンドユーザが属するグループが表示されます。</p> <p>ユーザ グループを設定する方法の詳細については、P.89-1 の「ユーザ グループの設定」を参照してください。</p>
[権限 (Roles)]	<p>このリスト ボックスは、エンドユーザが追加された後に表示されません。このリスト ボックスには、エンドユーザに割り当てられているロールが表示されます。</p> <p>ロールを設定する方法の詳細については、P.88-1 の「ロールの設定」を参照してください。</p>

**追加情報**

P.87-19 の「関連項目」を参照してください。

## エンドユーザのパスワードの変更

グローバルディレクトリ内のエンドユーザのエンドユーザパスワードを変更する手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** P.87-2 の「[エンドユーザの検索](#)」の手順を使用して、パスワードを変更するエンドユーザを見つけます。
- [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択したエンドユーザの情報が示されます。
- ステップ 2** [パスワード (Password)] フィールドで、暗号化されている既存のパスワードをダブルクリックし、新しいパスワードを入力します。
- ステップ 3** [パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールドで、暗号化されている既存のパスワードをダブルクリックし、新しいパスワードをもう一度入力します。
- ステップ 4** [保存] をクリックします。
- 

### 追加情報

P.87-19 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## エンドユーザの PIN の変更

エンドユーザの Personal Identification Number (PIN; 個人識別番号) を変更する手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** P.87-2 の「[エンドユーザの検索](#)」の手順を使用して、PIN を変更するエンドユーザを見つけます。
- [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択したエンドユーザの情報が示されます。
- ステップ 2** [PIN(PIN)] フィールドで、暗号化されている既存の PIN をダブルクリックし、新しい PIN を入力します。
- ステップ 3** [PIN の確認 (Confirm PIN)] フィールドで、暗号化されている既存の PIN をダブルクリックし、新しい PIN をもう一度入力します。
- ステップ 4** [保存] をクリックします。
- 

### 追加情報

P.87-19 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## エンドユーザのユーザ関連情報の設定

新しいエンドユーザを追加した後、そのエンドユーザに関連する追加情報を設定できます。各エンドユーザはこの情報を使用して、電話機の機能、マネージャの設定、アシスタントの設定、Cisco エクステンション モビリティ、Cisco Unified CallManager AutoAttendant、および Cisco IP SoftPhone 機能を個別に設定することができます。

### 始める前に

エンドユーザがデータベース内で設定されていることを確認します。詳細については、[P.87-2 の「エンドユーザの検索」](#)を参照してください。

### 手順

- ステップ 1** [P.87-2 の「エンドユーザの検索」](#)の手順を使用して、アプリケーション プロファイルを設定するエンドユーザを見つけます。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択したエンドユーザの情報が示されます。

- ステップ 2** このエンドユーザに対して Cisco Unified CallManager Assistant マネージャの設定を行うには、[関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [マネージャの設定] を選択し、[移動] をクリックします。

このエンドユーザの [マネージャの設定 (Manager Configuration)] ウィンドウが表示されます。Cisco Unified CallManager Assistant を設定する方法の詳細については、『*Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド*』の「プロキシ回線サポートのある Cisco Unified CallManager Assistant」および「共有回線サポートのある Cisco Unified CallManager Assistant」の章を参照してください。

このエンドユーザに対してマネージャの情報を設定した後、このエンドユーザの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウに戻ることができます。[マネージャの設定 (Manager Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [ユーザの設定に戻る] を選択し、[移動] をクリックします。

- ステップ 3** このエンドユーザに対して Cisco Unified CallManager Assistant のアシスタントの設定を行うには、[関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [アシスタントの設定] を選択し、[移動] をクリックします。

このエンドユーザの [アシスタントの設定] ウィンドウが表示されます。Cisco Unified CallManager Assistant を設定する方法の詳細については、『*Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド*』の「プロキシ回線サポートのある Cisco Unified CallManager Assistant」および「共有回線サポートのある Cisco Unified CallManager Assistant」の章を参照してください。

このエンドユーザに対してアシスタントの情報を設定した後、このエンドユーザの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウに戻ることができます。[アシスタントの設定] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [ユーザの設定に戻る] を選択し、[移動] をクリックします。

**ステップ 4** このエンドユーザのユーザ特権レポートを表示するには、[関連リンク] ドロップダウン リストボックスから [ユーザ特権レポート] を選択し、[移動] をクリックします。

このエンドユーザの [ユーザ特権 (User Privilege)] ウィンドウが表示されます。ユーザ特権レポートの詳細については、P.89-11 の「ユーザのロール、ユーザグループ、および権限の表示」を参照してください。

このエンドユーザのユーザ特権レポートを表示した後、このエンドユーザの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウに戻ることができます。[ユーザ特権 (User Privilege)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウン リストボックスから [ユーザの設定に戻る] を選択し、[移動] をクリックします。

---

#### 追加情報

P.87-19 の「関連項目」を参照してください。

## エンドユーザとデバイスとの関連付け

エンドユーザにデバイスを関連付け、エンドユーザがそのデバイスのコントロール権を持つようにすることができます。電話機などの一部のデバイスは、エンドユーザが制御できます。CTI ポートなどのその他のデバイスは、ユーザとして指定されるアプリケーションによって制御できます。エンドユーザが電話機のコントロール権を持つ場合、その電話機の特定の設定値（たとえば、短縮ダイヤルや自動転送）を制御できます。



(注)

すべてのデバイスの関連付け動作は、機能が設定されているデバイスタイプに関係なく同一になっています。

### 始める前に

エンドユーザにデバイスを関連付けるには、そのユーザの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウにアクセスする必要があります。既存のエンドユーザを見つける方法については、P.87-2 の「[エンドユーザの検索](#)」を参照してください。[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示された後で、デバイスを割り当てる手順は、次のとおりです。

新しいエンドユーザの追加を終了する前に、その新しいエンドユーザにデバイスを関連付けようとししないでください。必ず [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで **[保存]** をクリックしてから、新しいエンドユーザにデバイスアソシエーションを追加してください。

### 手順

**ステップ 1** [デバイスの割り当て (Device Associations)] ペインで、**[デバイスの割り当て]** をクリックします。

[ユーザデバイス割り当て (User Device Association)] ウィンドウが表示されます。

#### デバイスの検索

ネットワーク内にはいくつかのデバイスが存在することがあるので、Cisco Unified CallManager では、固有の条件を指定して、特定のデバイスを見つけることができます。デバイスを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified CallManager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、デバイスの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、デバイスの検索設定は保持されます。

**ステップ 2** 最初の [検索対象 : ユーザデバイス割り当て、検索条件 :] ドロップダウン リスト ボックスから、デバイスの検索に使用するフィールドを選択します (たとえば、[名前 (Name)]、[説明 (Description)])。



(注)

データベースに登録されているデバイスをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。検索条件と一致するデバイスのリストが表示されます。

**ステップ 3** 2 番目の [検索対象: ユーザデバイス割り当て、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、テキスト検索の検索パターンを選択します (たとえば、[が次の文字列で始まる]、[が次の文字列を含む]、[が次の文字列で終わる])。

**ステップ 4** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**[検索]** をクリックします。

ウィンドウの [デバイスの割り当て] 部分に、検索条件と一致するレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



**ヒント** 検索結果内でデバイスを検索するには、**[絞り込み]** チェックボックスをオンにし、このステップの説明に従って検索条件を入力します。

### デバイスの関連付け

**ステップ 5** [デバイスの割り当て] ペインで、デバイス名の左側にあるボックスをオンにして、このエンドユーザに関連付けるデバイスを選択します。

ウィンドウの下部にあるボタンを使用して、エンドユーザに関連付けるデバイスを選択および選択解除できます。



**(注)** これらのボタンが機能するのは、前述のステップによるデバイス検索の結果として見つかったデバイスを選択および選択解除する場合だけです。



**ヒント** このエンドユーザにすでに関連付けられているデバイスを表示するには、[ユーザに関連付けられているデバイスを表示] チェックボックスをオンにします。

ボタンとその機能について次に説明します。

- **[ページのすべてを選択]**: このボタンをクリックすると、このページに表示されているすべてのデバイスが選択されます。
- **[ページのすべてをクリア]**: このボタンをクリックすると、このページに表示されているすべてのデバイスの横にあるチェックボックスがオフになります。
- **[検索のすべてを選択]**: このボタンをクリックすると、ウィンドウの [検索オプション (Search Options)] 部分に指定した検索条件と一致するすべてのデバイスが選択されます。このボタンによって、あらためて検索が行われ、一致するすべてのデバイスが選択されます。
- **[検索のすべてをクリア]**: このボタンをクリックすると、ウィンドウの [検索オプション (Search Options)] 部分に指定した検索条件と一致するすべてのデバイスが選択解除されます。このボタンによって、あらためて検索が行われ、一致するすべてのデバイスが選択解除されます。
- **[選択 / 変更の保存]**: このボタンをクリックすると、選択したデバイスがこのエンドユーザに関連付けられます。
- **[割り当てられているすべてのデバイスを削除]**: このボタンをクリックすると、すでにこのエンドユーザに関連付けられているすべてのデバイスの関連付けが解除されます。このボタンをクリックした後、このエンドユーザからすべてのデバイス アソシエーションを削除することの確認を求めるポップアップ ウィンドウが表示されます。**[OK]** をクリックして、確認します。

**ステップ 6** エンドユーザに割り当てるデバイスごとに、前述のステップを繰り返します。

**ステップ 7** アソシエーションを完了するには、**[選択 / 変更の保存]** をクリックします。

ユーザのデバイス アソシエーションを保存すると、関連付けられたデバイスが、ウィンドウの [デバイスの割り当て] 部分の破線の上に表示されます。

**ステップ 8** ウィンドウの右上隅にある **[関連リンク]** ドロップダウン リスト ボックスから **[ユーザの設定に戻る]** を選択し、**[移動]** をクリックします。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択して関連付けたデバイスが **[制御するデバイス (Controlled Devices)]** ペインに表示されます。

#### 追加情報

P.87-19 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## Cisco エクステンション モビリティ プロファイルの関連付け

Cisco エクステンション モビリティを使用すると、Cisco Unified IP Phone モデル 7940 または Cisco Unified IP Phone モデル 7960 を一時的にエンドユーザの電話機として使用できるように設定することができます。エンドユーザが電話機にログインすると、そのエンドユーザのエクステンション モビリティ プロファイル (回線と短縮ダイヤル番号を含む) が、その電話機上に置かれます。この機能は、エンドユーザの IP フォンが恒常的に割り当てられていない環境で主に使用されます。

エクステンション モビリティ プロファイルをエンドユーザに関連付けるには、そのエンドユーザの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウにアクセスする必要があります。既存のエンドユーザの情報にアクセスする方法については、P.87-2 の「[エンドユーザの検索](#)」を参照してください。エンドユーザに対して Cisco エクステンション モビリティを設定し関連付ける方法については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco エクステンション モビリティ」を参照してください。

## エンドユーザの削除

Cisco Unified CallManager の管理ページを使用してエンドユーザを削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

エンドユーザを削除する前に、そのエンドユーザに関連付けられているデバイスまたはプロフィールを削除する必要があるかどうかを判断します。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウの [デバイスの割り当て (Device Associations)]、[エクステンションモビリティ (Extension Mobility)]、[電話番号の割り当て (Directory Number Associations)]、[CAPF 情報 (CAPF Information)]、および [権限情報 (Permissions Information)] の各エリアから、エンドユーザに割り当てられているデバイスおよびプロフィールを表示できます。[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで、[関連リンク] ドロップダウンリストボックスから [依存関係レコード] を選択することもできます。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4](#) の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。

### 手順

---

**ステップ 1** [ユーザ管理] > [エンドユーザ] の順に選択します。

[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 特定のエンドユーザを見つけるには、検索条件を入力し、[検索] をクリックします。

検索条件と一致するエンドユーザのリストが表示されます。

**ステップ 3** 次のアクションのいずれかを実行します。

- 削除するエンドユーザの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除] をクリックする。
- [すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックし、ウィンドウ内のすべてのエンドユーザを削除する。
- 削除するエンドユーザのユーザ ID をリストから選択して、現在の設定値を表示し、[削除] をクリックする。

確認ダイアログが表示されます。

**ステップ 4** [OK] をクリックします。

---

### 追加情報

[P.87-19](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [エンドユーザの検索 \(P.87-2\)](#)
- [エンドユーザの追加 \(P.87-3\)](#)
- [Cisco Unity または Cisco Unity Connection のボイスメールボックスの作成 \(P.87-4\)](#)
- [エンドユーザの設定値 \(P.87-6\)](#)
- [エンドユーザのパスワードの変更 \(P.87-11\)](#)
- [エンドユーザの PIN の変更 \(P.87-12\)](#)
- [エンドユーザのユーザ関連情報の設定 \(P.87-13\)](#)
- [エンドユーザとデバイスとの関連付け \(P.87-15\)](#)
- [Cisco エクステンション モビリティ プロファイルの関連付け \(P.87-17\)](#)
- [エンドユーザの削除 \(P.87-18\)](#)
- [LDAP システムの設定 \(P.12-1\)](#)
- [電話番号の設定 \(P.48-1\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.67-1\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone の設定 \(P.70-1\)](#)
- [ロールの設定 \(P.88-1\)](#)
- [ユーザ グループの設定 \(P.89-1\)](#)
- [ユーザのロール、ユーザ グループ、および権限の表示 \(P.89-11\)](#)
- 『*Cisco Unified CallManager システム ガイド*』の「アプリケーション ユーザとエンドユーザの設定チェックリストの管理」
- 『*Cisco Unified CallManager システム ガイド*』の「アプリケーション ユーザとエンドユーザ」
- 『*Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド*』の「Cisco エクステンション モビリティ」
- 『*Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド*』の「ユーザへのユーザ デバイス プロファイルの関連付け」
- 『*Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド*』の「プロキシ回線サポートのある Cisco Unified CallManager Assistant」
- 『*Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド*』の「共有回線サポートのある Cisco Unified CallManager Assistant」

■ 関連項目